

日本海でのエネルギー資源の開発促進に向けて、
将来有望な資源として注目されている
メタンハイドレートに関するフォーラムを開催します。

日本海海洋資源 フォーラム

参加無料
事前申込制

in 秋田

令和4年

日時

11月24日(木) 13:00~15:00
(受付12:30~)

会場

ホテルメトロポリタン秋田
3階 グランデ (JR秋田駅西口隣接)

13:00	開会挨拶
13:10	促進対話(国と日本海連合構成府県の知事等による意見交換) 【登壇者(予定)】 資源エネルギー庁、花角新潟県知事(会長)、日本海連合構成府県知事(代理)、 青山繁晴参議院議員(オブザーバー)
13:35	基調講演 【メタンハイドレート開発に関する政府の取組(仮)】 経済産業省資源エネルギー庁 資源・燃料部 石油・天然ガス課
14:00	特別講演① 【砂層型メタンハイドレートの研究開発 商業化に向けた取り組み】 日本メタンハイドレート調査株式会社 常務取締役 社長補佐 技術統括室長 阿部 正憲氏
14:30	特別講演② 【広範囲鉛直掘削法による回収技術開発について】 三井海洋開発株式会社 事業開発部 プロジェクトマネージャー 望月 幸司氏
15:00	閉会

主催 海洋エネルギー資源開発促進日本海連合

〔青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県〕

メタンハイドレート(methane hydrate)とは

●メタンハイドレートは、低温・高圧の状態では結晶化した水分子のかごの中にメタン分子が入り込んだもので、一見すると、色白で、触ると冷たい、氷のような物質です。

●中に入り込んでいるメタンは、発電や都市ガスに使われる天然ガスの主成分で、燃える性質を持っており、1m³のメタンハイドレートから、160～170m³ものメタンガスが発生します。

白く冷たいメタンハイドレートに火を近づけると、発生したメタンガスが勢いよく燃えることから、メタンハイドレートは「燃える氷」と呼ばれることがあります。

日本は、エネルギー資源の約9割を海外から輸入しており、日本近海に大規模な量が存在すると推定されているメタンハイドレートは、新しいエネルギー資源として注目されています。



「人工」のメタンハイドレート
出典:MH21-S研究開発コンソーシアム

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合(会長:花角新潟県知事)は、日本海における海洋エネルギー資源の開発促進を目的として、日本海沿岸12府県が連携し、日本海におけるメタンハイドレート、石油、天然ガス等の海洋エネルギー資源の開発促進に向けた情報収集、調査研究、国への提案など、多彩な活動を展開しています。

公式WEBサイト <https://www.nihonkairengou.jp/>

海洋エネルギー 日本海連合

海洋エネルギー資源開発促進日本海連合・・・平成24年9月8日に設立

(青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県、山口県の12府県で構成)

お申し込み方法

●先着100名様

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

●下記①～④を記入しメールまたはFAXで
11月17日(木)までにお申し込みください。

- ①氏名 ②住所 ③電話番号
- ④企業・団体名

●お申し込み先

秋田県産業労働部エネルギー・資源振興課
メール shigen-ene@pref.akita.lg.jp

※件名を「フォーラム申し込み」としてください。

FAX 018-860-3869



会場 ホテルメトロポリタン秋田 3階「グランデ」
(秋田市中通七丁目2番1号 JR秋田駅西口隣接)

※できるだけ公共交通機関をご利用ください。お車で越しの場合、近隣のコインパーキング等をご利用ください(駐車料金は各自負担となります)。

FAX申込書 「日本海海洋資源フォーラムin秋田」申し込み

①氏名		③電話番号	
②住所		④企業・団体名	

宛先 秋田県産業労働部エネルギー・資源振興課(FAX 018-860-3869)

※参加申込でいただいた個人情報は当フォーラムの目的以外には使用いたしません。